そすいさんぽ
CANAL WALK

疏水分線コース
Branch Canal Course



琵琶湖疏水 LAKE BIWA CANAL

日本遺産 JAPAN HERITAGE

そすいさんぽ全コース概略図

「そすいさんぽ」には、琵琶湖疏水を巡る3コースがあります。各コースに、琵琶湖からの距離を示す、約1キロごとのサインが設置されています。
※サインには、電柱やフェンスへの掲示も含みます。





コラム 9

ルート高低差表

そすいさんぽ（疏水分線コース） 全長9.7km 所要時間の目安 3時間14分（毎分50mで算出）

コラム

⑦ 等高線に沿って流れている琵琶湖疏水

疏水分線は、鴨川や桂川など京都市内を流れる川とは違い、南から北に向かって流れており、一見すると標高の高い方に逆上っているように見えます。疏水のルートは実は、等高線に沿うように設計されており、疏水の水ができるだけ広い範囲に流れるよう、水路の勾配が緻密に計算されているのです。



⑧ 旧鐘紡京都工場

明治41（1908）年に操業を開始した鐘紡京都工場は、原料の洗浄などに疏水の水を利用していました。現在の左京区高野東開町辺りが、その工場跡に当たります。



鐘紡京都工場跡

⑨ かつての疏水分線（紫明通）

琵琶湖疏水が完成した頃、疏水分線は小川頭（現在の北区紫野宮東町）までの約8.4kmでした。戦後、賀茂川以西の水路は廃止になり、紫明通となっています。現在は平成の堀川水辺環境整備事業により、第2疏水分線から引いた水は賀茂川の下を通り、紫明通の中央分離帯を流れています。紫明通の北側には、「疏」と刻まれた境界杭がいくつも残っています。



疏水分線の終点（小川頭、昭和14年）

発　　行：琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会（京都市上下水道局）
発行年月：令和７（2025）年１月

外面と続く

0 500m

御蔭通

西瀬ノ内橋
東蔦橋
東御蔭橋
京大グラウンド
小倉北橋
新小倉橋
小倉橋
知恩寺
志賀越道
白川
今出川通
吉田橋
浄土寺小橋
浄土寺橋
疏水は白川の下を通っています
銀閣寺交番
西田橋
銀閣寺橋
銀閣寺南橋
白沙村荘・橋本関雪記念館
銀閣寺西橋
元町橋
慈照寺(銀閣寺)
琵琶湖から13km
弥勒院橋
京都大学
吉田神社
山下橋
法心橋
法然院
哲学の道 Philosopher's Path
コラム 6
法然院第三号橋
鹿ヶ谷通
法然院橋
櫻橋
巽橋
東大路通
コラム 5 真正極楽寺(真如堂)
白川通
琵琶湖から12km
寺ノ前橋
和中庵
金戒光明寺
疏水分線
鹿ヶ谷橋
大豊橋
大豊神社
丸太町通
岡崎神社
泉屋博古館
かつての京都市電の敷石が哲学の道に敷かれている
京都市電の敷石
「哲学の道」の石碑あり
熊野若王子神社
若王子橋
コラム 4
若王子取水池
ここで水を取り、松ケ崎浄水場へ送っている
永観堂
東山高校
琵琶湖から11km
平安神宮
ロームシアター京都
細見美術館
扇ダム放水路 Ohgi Dam Discharge Channel
野村美術館
みやこめっせ
京都市京セラ美術館
京都市動物園
南禅寺船溜
琵琶湖疏水記念館
国立近代美術館
扇ダム
コラム 3
仁王門通
神宮道
無鄰菴
コラム 1
南禅寺
中門
金地院
水路閣
蹴上発電所
蹴上インクライン
コラム 2
東山駅 Higashiyama Station
三条通
地下鉄東西線 Subway Tozai Line
ねじりまんぽ
蹴上駅 Keage Station
1番出口
琵琶湖から10km
旧御所水道ポンプ室
蹴上浄水場
第３トンネル出口
蹴上乗下船場
第3トンネル

疏水分線とは

沿線各地への水力利用、かんがい用水、防火用水の供給を目的に設置されました。熊野若王子神社から浄土寺橋に至る疏水分線沿いの遊歩道は、京都大学の哲学者・西田幾多郎らが思索にふけったとされることにちなみ、「哲学の道」と呼ばれています。



ルート高低差表



そすいさんぽ（疏水分線コース） 全長9.7km 所要時間の目安 3時間14分（毎分50mで算出）

そすいさんぽルート
そすいさんぽルート 大津―山科―鴨川コース
びわ湖疏水船 乗下船場
琵琶湖疏水
琵琶湖疏水（暗きょ・トンネル）
河川
トイレ 桜スポット 紅葉スポット

コラム

① 南禅寺界隈別荘群

南禅寺の塔頭跡地に、近代最高峰の作庭家七代目小川治兵衛（植治）の活躍もあり、疏水の水を利用した近代庭園群が形成されました。山縣有朋の別邸である無鄰菴や平安神宮の神苑などがあります。



無鄰菴 ©植彌加藤造園

② 水路閣

名刹・南禅寺の境内にかかるアーチ型の水路橋で、明治21（1888）年に完成しました。蹴上から若王子へ水路を通すに当たり、田邊朔郎が地形や景観を考慮して設計したものです。橋上からは疏水の流れを直に見ることができます（国史跡）。



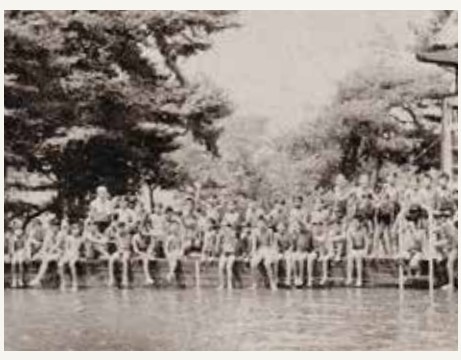
③ 扇ダム

第5トンネルと第6トンネルの間にある「扇ダム」。主にここから南禅寺界隈別荘の庭園群に引水され、防火用として水利用の申請を受けています。
※一般の方は立入りできません。



④ 旧若王子プール

琵琶湖疏水のユニークな活用方法としてプールがありました。昭和40年代までは、市内小学校にプールはなく、水泳の授業は、豊富な水量がある疏水を活用した若王子プール、南禅寺プール、夷川船溜などで行われていました。



⑤ 真如堂の石灯篭

真如堂の元三大師堂の前にある「工学博士田邊朔郎君頌徳紀念」と刻まれた石灯籠です。疏水のおかげで水不足に困らなくなったお礼として、白川村（当時）の村長が奉納しました。



⑥ 幻の工業都市計画

北垣国道知事は、疏水の水で水車を回して工業機械の動力に利用するため、鹿ケ谷・哲学の道近辺に工業地帯の整備を考えました。しかし、整備工事には多額の経費が掛かり、また水力発電所の建設計画が持ち上がったため、水車による工業都市計画は実現しませんでした。



琵琶湖疏水線路インクライン以西至鴨川平面図（明治20年頃、「田邊家資料」）。南禅寺北側などの土地に朱筆で「工場敷地」と記されている。